

# 家庭教育つうしん

令和7年8月発行第93号

発行責任者：士別市教育委員会  
生涯学習部社会教育課  
(電話 26-7308)

メール：shakaikyokuka@city.shibetsu.lg.jp  
作成者：士別市家庭教育推進員 共同作成

## 社会生活のルールについて

社会生活のルールは、私たちがいきいきと生活するために欠かせないものです。ルールを守ることで、秩序の維持、安全の確保、円滑なコミュニケーション、協力意識の醸成や人間関係の向上などのメリットがあります。

そこで今回は、「社会生活のルールについて」をテーマにして家庭教育推進員からの情報をお届けします。

### 「幼児期はあいさつから」

みなさんのご家庭には、どのような約束事がありますか。

あいさつをする・後片付けをする・時間を守る…など、あるかと思います。

幼児期において大切なことは、まずは家庭での「あいさつ」ではないでしょうか。

起きたときには「おはよう」、寝るときには「おやすみ」、人と出会ったときには「こんにちは」など、あたりまえのことですがとても大切なことです。社会では、あいさつは相手とのコミュニケーションのきっかけになり、基本的なルールとされています。

親があいさつを強制したり無理強いしたりすることは逆効果になるため、最初は家族や友だち、身近な大人とのあいさつから始められるといいですね。

大きな社会に出る前に、まずは家庭での小さな約束から。約束事を決める時には、子どもと一緒に決める、具体的に決める、守ることができたら褒める、親も一緒に守ることがポイントです。

そして、「ありがとう」と言えることも素敵なことです。「ありがとう」「嬉しいな」と伝えることは、子どもが伸びる褒め言葉であり、自己肯定感の向上にも繋がります。

(北星保育園副所長：水村推進員)

### 「大人の背中」

みんなが気持ちよく、安全に暮らしていくためには、それぞれが属している社会のきまりやマナーを守ることが大切です。例えば、長い行列に横から割り込んでくるなど、きまりやマナーを守らない人がいると、周りの人は不快な思いをしますし、時には争いごとの種になったりしますよね。

子どもたちは、学校でたくさんの仲間たちと過ごす中で、大切なことを学んでいると思います。さっきの行列の横入りなどは、先生や友だちからも注意をされそうですね。

家庭でも、子どもに言葉をかけてたくさんのルールやマナーを教えていると思いますが、特に気持ちよく過ごすためのマナーは、家庭にかかっている気がします。

ある日、車を運転していて、交差点で自転車に乗っている生徒さん3人と譲り合いになりました。「どうぞ」と先に通してあげると3人も次々にペコッと頭を下げられて、嬉しい気持ちで1日を過ごせました。そういう行動は、言葉で教わったことではなく、譲り合う場面で親のしている所作を見て学んでいる気がしたのです。

見られた背中を真似してもらえる素敵な大人でいたいですね。

(士別市教育委員会青少年相談員：寺口推進員)

### 「社会生活のパスポート」

お子さんたちが社会でたくましく育つには、特別な「パスポート」が必要です。それは、人とのつながりを豊かにし、自分らしく輝くための「魔法の言葉」と「優しい心」を育むヒントです。

残念ながら、最近は大人のモラルが問われるニュースも耳にします。そんな時代だからこそ、私たちは子どもたちに、どんな荒波にも負けない「人としての土台」を育てたいと思います。

毎日の「おはよう!」、「ありがとう」、「どうぞ」。これらは、子どもたちが社会で楽しく過ごすための大切な「コツ」。私たちは「~しなさい」と教えるだけでなく、「なぜそれが大切なのか」を話してあげることが重要だと思いま

す。

公園で順番を守ることは、単に待つだけでなく、相手を思いやる気持ちを育みます。

図書館で静かにすることも、周りへの配慮を自然と学べます。

家庭での声かけや行動が、子どもたちの心に温かい種をまきます。その種は、「困っている人を助けよう」「みんなが笑顔になるには？」と自分で考え、行動できる「社会性の芽」として育っていくでしょう。

社会のルールは、子どもを縛るものではなく、自由に安心して成長するための「追い風」です。この「パスポート」を手にも、お子さんたちが素晴らしい未来を築けるよう、私たち親も一緒に楽しみながら導いていきましょう。

(温根別小学校教頭：重森推進員)

## 「家庭教育から社会教育へ」

皆さんのご家庭にはこれだけは特に守りたいルールがありますでしょうか？

例えば、「毎朝必ず笑顔で挨拶をしよう。」「家族で決めた時間を守ろう。」「夜の団らんはテレビをつけずに過ごそう。」「朝ごはんは全員揃って食べよう。」「スマホやゲームは〇〇時までにはしよう。」等、重んじている内容はそれぞれであり、多かれ少なかれきっとあるのではないかと思います。

これはいずれも心身共に明るく元気に暮らすために、日々の生活を通して家族間で考えたり、話し合った内容であることと思います。日によっては守ることができたり、守ることができなかつたり…

しかしながら、日々、前向きに期待を持ちながら過ごされているのではないのでしょうか。

それと同じくして、社会生活においてはより安全安心に、そして円滑に過ごすべく様々なルールがあり、お子さんも家庭での経験を活かしながら、園生活や学校生活を送っています。

春より新しい環境の下、集団生活に励んできた子どもたち。ようやく緊張から解き放たれ、のびのびと活躍できるようになった今こそ、改めて規範意識をはじめとする会話の時間を家庭内で持つ良い機会かと思っています。家庭と社会ができることから繋がり、子どもたちの一学期が最後まで心豊かに守り導かれますことを心より願っております。

(士別幼稚園園長：谷推進員)

## 「社会生活のルールについてのおすすめする本」



はじめての「よのなかルールブック」おやくそくえほん

日本図書センター (2020.2) 高濱 正伸 監修 林 ユミ 絵

「子どもにこれだけは身につけて欲しい!」「でも、どう伝えたらいいのか分からない…。」小学校に入学する前後に身につけたい42の習慣を「おやくそく」として紹介した親子で読みたい一冊です。



「教室はまちがうところだ」

こどもの未来社 (2004.5) 蒔田 晋治 作 長谷川 知子 絵

教室でまちがえるのが怖くて、小さく黙りこくっている子どもたちに、勇気と自信を与えてくれる絵本です。こんな教室だったらいいな、こんな教室にしたいな、という声が、子どもたちからも教師たちからも、そしてお父さん、お母さんたちからもある本です。



「こども六法」

弘文堂 (2019.8) 山崎 聡一郎 著 伊藤 ハムスター 絵

子ども、友だち、保護者、先生、誰でも読めて、法律とはどんなものかを知ることができる本です。大人でも知らないことがたくさんある法律の世界、ぜひ子どもと一緒に読んで、社会のルールについて話し合ってみてください。

これらの本のほかにも、関連する図書を貸し出ししています。ぜひ図書館へお越しください。

(市立士別図書館主査：澤田推進員)